

2022年度 第5回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2022年10月14日（金）13：00～15：00

会 場：日本代協会議室 Zoom ハイブリッド開催

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 2名（白石監事、津田監事）

リアル出席：小田島会長、横山副会長、小俣副会長、中島副会長、山中副会長、佐々木理事、雨宮理事、
下村理事、小橋理事、谷川理事、北島理事、松本理事、石川理事、藤山理事、大城理事、
大和理事、金澤専務、小見常務

WEB出席：白石監事、津田監事は各事務所からWEB出席

会長 小田島綾子氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

会長挨拶骨子

・各地の様々な事業推進の展開に感謝する。前回の全国会長懇談会から1か月が経過し、委員会やブロック活動にも新しい動きが見られ、この場で共有したいことが数多いと思う。本日は報告中心の理事会となるが、情報を確認・共有のうえ、各地への情報提供をお願いする。

まずは3点お話する。

1.10月は代協における地震保険の啓発・普及促進月間である。この取り組みは2005年度から開始しているが、発端は2004年発生の中越地震の悲惨な被害状況から、ALL代協でお客さまにお伝えすることの重要性を強く認識し、当時の委員会や理事会での決議にあった。発足から18年が経過したが、変わらぬ代理店の意識と行動が重要である。「地震保険は必要」との情報提供を継続し続けよう。

2.1か月後は日本代協コンベンションを開催する。3年ぶりのリアル開催ということで会員の期待感の高まりが感じられる。会場での「情報・感動・交流」を吸収して持ち帰り、地元でその内容をアウトプットいただけるように関わっていただきたい。参加者には、参加されるだけで終わることなく、また、安全に集まり、無事に帰っていくことを強く意識していただきたい。

3.各地のブロック協議会に伺い、そのプログラムの企画・設営や進行の工夫に触れ、また役員委員の方々のお話を伺っているが、代協運営にかかる課題に違いがある中で、事業推進の温度差や各地の関心事など理事の皆さんのご苦勞が多いことも確認できた。各代協の活動の充実へ向け、それぞれにスポットをあて支援していくことが我々の役割であり、双方向の情報伝達を続ける中で、代協の価値を広げていこう。

< 前回理事会（9/8）以降の業務報告 >

（対内）

・9/16東海ブロック協議会、9/27阪神ブロック協議会、10/11東京ブロック協議会にリアル参加させていただいた。また、9/21は本日の理事会運営に関して、正副会長 Web 打ち合わせを行った。

（対外）

・9/30UCDA 選考会に選考委員として参加した。コミュニケーションのデザインを考えるというテーマで、お客さまとのコミュニケーションも相手の立場で分かりやすい情報提供をしないと内容も思いも伝わらないという考え方の下、「お知らせする」ということを各企業がいかに工夫しているか、印刷物・Web 画像・スマホなどの技術、作品を競い、それを評価する場であった。10月末～11月初に選考結果が判明するので、確認いただきたい。

・本日の理事会も、闊達な論議をお願いする。

〔 審議事項 〕

審議事項なし。

〔報告事項〕

1. 事業計画推進にかかる報告事項

(1) 地域担当理事からの報告

以下の報告があり、共有された。

- ・各ブロックで人材育成セミナーが開催された。地域サポートの副会長や相談役に講師をお願いし、各代協の次世代を担う会員を集めて開催され、盛り上がりを確認した。今後、各代協や支部の周年行事への小田島会長の参加要請があるので、Web参加等検討いただきたい。三冠王の取組では、南東北の各代協のぼうさい探検隊の目標達成の動きが他代協に波及し、活動が活性化している。
- ・三冠王の取組では、各代協は、ぼうさい探検隊の冠獲得へ照準を合わせ、活動中。神奈川は1項目ずつ注力する方針で社労士認証に続き、ぼうさい探検隊・ジギョケイと展開中。各ブロックでセミナー・イベントが開催された。

10/4 上信越ブロックの公開セミナーでは、日本の防災研究の第一人者といわれる片田敏孝氏(東京大学大学院特任教授、群馬大学名誉教授、日本災害情報学会会長)に講演いただき、「逃げる勇気を持つ」ことの重要性が説かれた。約100名の参加者のうち、県市・マスコミ関係の方で80名を超える盛会であった。

埼玉県代協の好取組を紹介する。支部の活性化、会員への情報提供強化・代協活動への参加率向上を目指し、「代協活用ガイド」を策定し、配信している。データや情報の発信の仕方を一変した。既設の「新風会」の活動のほか、「委員会サポーター制度」や収益事業の一つである「助成金自動診断システムの導入紹介」も開始している。また、Googleformを活用し、アンケートでジギョケイ、BCP、社労士診断認証、アカデミーについての情報収集にも取り掛かっており、大変参考になる。

参考：埼玉代協 動画でのご紹介

埼玉代協活用ガイド <https://youtu.be/m6W1YLgJZqE>

2022年10月7日事務局だより(動画版) <https://youtu.be/WrwhuT8yWE4>

埼玉代協 委員会サポーター紹介動画 <https://youtu.be/vQY0kpOSK04>

防災訓練&体験会時使用動画

防災訓練動画 OP <https://youtu.be/Qj2CR3o3Kko>

防災訓練後半 <https://youtu.be/zP6oFMX2MBc>

助成金診断ページ(導入例) <https://shindan.jmatch.jp/writeup/?alpha>

南関東は12/16-17で人材育成セミナーを企画、東京代協は金子名誉会長と野元前専務によるセミナーで代協活動を俯瞰し、さらにユニークで魅力あるセミナーとしてWセミナー(1.金融庁、2.1.に紐づけされた代理店賠償)を企画済である。企業代理店懇談会も実施した。

- ・東海ブロックの事業計画推進は、着実に進んでいる。特に愛知県代協の動きが活性化しており、重点取組事項での冠獲得に意欲的である。三重県代協も目指せ7冠として委員会(正副)オリエンテーションに続き、新任支部長・副支部長のオリエンテーションを企画している。北陸ブロックでは、富山県代協が先行しており、ぼうさい探検隊、BCP作成、社労士診断認証で3つの冠を獲得済と牽引。
- ・熱と情報を伝えていくには、支部活動の活性化がキーとなることを改めて共有認識をもった。

三冠王の取組みについては、各代協が PDCA を回しており、心配していない。「早めの着手で成果」を目指しているが、一部、やらされ感をもつ委員には本質の伝達が我々の役割である。

企画環境委員会で展開している代理店の価値向上策の取組みについて浸透が進んでいないことを認識しており、この浸透に有効な手立てを検討し実施したい。

教育委員会の活動では、損保 TP 等の更新もれフォローや認定バッジ・認定証の購入・着用フォローを含む「3つの基本行動」の再徹底が必要と感じている。

組織委員会の活動としては、メリットなし退会の防止策を実施していきたい。

CSR 活動の一環としては、10/22-23 に兵庫で開催される「ぼうさい国体」 in 兵庫に兵庫県代協がブースを出し、ぼうさい探検隊の取組みを紹介するとのことである。

特定修理業者（火災保険金請求、自動車修理）情報の共有、火災保険の評価ギャップに関する口頭報告があった。

- ・東中国ブロックで、10/22 に 3 県合同清掃を実施する。11/5-6 に人材育成セミナーを企画。西中国ブロックは、三冠王の取組みを含め、事業計画推進に意欲的に取り組んでおり、社労士診断認証の冠獲得に続き、仲間づくり推進の目標達成が見えてきた。10/28 にブロック協議会開催予定、11/7 に広島県代協の 70 周年記念式典を実施する。

四国ブロックでは、善戦苦戦が混在しているが、CA（チェックアクション）を回していく。ぼうさい探検隊の ipad 数に限りがあり、提供が渋滞となっている。救済措置の検討をお願いしたい。また RM 講座についても、より早めの企画案内があると助かるとの声があった。ジギョケイの更新方法についても改めて情報提供や更新支援をいただきたい。

- ・九州の両ブロックともに、アクションシートの記載がより具体的になってきた。作成に関わる方々の目標意識や課題認識が標準化され、研がれてきたと考えている。代理店の価値向上策の展開について、取組みの背景、本質、意義の浸透が遅れていることが確認できたので、立て直していきたい。

「鹿児島県のおしごと本 2022」（小学 5 年生経由で各家庭に届く鹿児島で働く人たちの職務を紹介）に「損害保険代理店営業職・営業サポート職」「鹿児島県損害保険代理業協会」が掲載された。好取組であり、横展開を検討・実施していきたい。

「九州は事務局もひとつ」を展開しているが、11/10 に第 2 回目の会合を開催する。テーマは政治連盟の活動について知るとした。大塚選対委員長に講師をお願いする。

〔地域別委員会別資料〕各ブロック別事業計画アクションシート（地域別委員会別資料 P.1-20）
（追加資料 P.1-3）

（2）委員会担当理事からの報告

企画環境委員会

松本委員長より、諮問・推進事項に関する取組報告があり、共有された。

【主な内容】

9/29 に第 3 回企画環境委員会を開催した。また、前日の 9/28 に上信越ブロック協議会にリアル参加させていただき、価値向上策に取り組む意義等をお伝えした。熱量をお伝えするためにも機会を提供いただきたい。

- ・代理店の価値向上策の検討・実施：

.BCP 作成 30%、ジギョケイ 20%（2021 年度達成代協は 25%）BCP で富山、ジギョケイで福井が目標達成、また、制度開始から 3 年経過し、更新時期が到来している。

8/30 ジギョケイセミナー開催、288 名申込・230 名受講・アンケート回答 198 名
(良かった 95%、視聴すべき 71%、策定すべき 75%、保険提案につながるか[必ず 21%、
つながる 62%、わかならい 17%])

9/5 からオンデマンド配信開始、9/27 時点で 411 名が視聴。取得済 32%、取得予定
48%、取得しない 20%。YouTube 動画の視聴数は 162 を数えた。

・社労士診断認証制度(宣言企業 10%)

昨年の 199 店の認証から 384 店の認証と増加した。

12/6 社労士会との合同セミナーを予定している。月刊社労士の 9 月号に日本代協の
活動が紹介されているので確認いただきたい。

・リスクマネジメント講座の実施(基礎・診断士 10%、保険関連 5%)

受講状況:基礎 23 名、リスク診断士 6 名と 10%へは約 720 名、保険財務 2 名、保険
RM3 名、法人生保 3 名と 5%達成には約 360 名という状況。

10/25(火)16 時~17 時にリスクマネジメントセミナーを開催する。(P.22 ちらし参照)

- ・不公正募集、保険会社戦略、共通化・標準化に関する報告については、問題意識の濃淡
の問題も絡むが、具体的な情報の提出を改めて伝えていきたい。
- ・自主取組:「代協活動の現状と課題」サマライズ版の作成については、各章にポイントの
記載が設けられたことをもって代替とする。

[地域別委員会別資料]企画環境委員会報告シート(地域別委員会別資料 P.21-24)

教育委員会

石川委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・今年度第 1 回コンサルティングコースセミナーは 21 回を無事に開催でき、10/19 に最終
回を迎える。教育委員ならびに各代協の役員・事務局の方の支援に感謝申し上げる。第
2 回目セミナーは 11/1 を皮切りに来年 1/26 まで今後 3 か月間にわたり設定している。
認定主体である損保協会の初めてのセミナー視察も終わり、講師との意見交換会を企画
してプログラムの充実につなげていく。次年度は科目 3.の大幅改定も予定している。
- ・12/1~2/10 まで 2023 年 4 月開講コースの受講申込受付を開始する。募集ツールは日本
代協ホームページに掲載済であるが、紙媒体ツールは 10/20(木)に各地に到着の予定。
東京海上日動パートナーズは人事制度改定を行い、トータルプランナー認定をコンピテ
ンシー評価に入れることになり、受講費用も会社負担とのことである。受講申込者の増
加が期待できる。
- ・実現を要望し続けてきた「顔写真入り認定証」の作成について詰めへ向けた打ち合わせ
が入るようになってきた。早期の実現へ向け、注力する。
- ・12/2 に損保 TP 新規認定取得式典を Web 開催することが決まった。新規認定者に気づき
を提供するためにパネルディスカッションの動画を作成することとなったが、損保協会
からの特段の要請があり、パネラー 3 名(東京、長野、埼玉)とコーディネーター 1 名(三
重)は日本代協から選出し、10/31 にスタジオ収録する予定となっている。
- ・日本代協アカデミーの更新案内については、システムプラットフォーム改定の混乱に、自
然災害や国葬準備に伴う郵便配達事情が重なり、当初設定の支払期限 9 月末間近の到着
となるなどご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。急遽、関係者と交渉し、支払期限を
10/31 に修正させていただいた。それでも 9/30 までに 78.1%の利用者が更新手続きを済
ませていただいております、前年度の 76.9%を上回っていた。10/31 入金状況は 11/4 に集計

を行い、三冠王カウントに反映させる。

- ・システム改定に伴い、更新時期を従前の10月から1年ではなく、4月から1年となるため、新規利用者の利用料金も申込月により、半期分～半期分の75%という設定（新規用ちらし参照）となるが、新規利用勧奨についてもご支援をお願いする。
新コンテンツである「公的保険シリーズ」も前半の6回分を10/20前後に開示、後半分を2023年1月中旬に開示することになっている。短時間で確認できる作り込みとしており、金融庁のポータルサイト情報の伝道師を数多く育成するための仕立てとしている。
- ・今後のコンテンツの検討に関して、9/2の福岡県代協セミナーのアンケートが役立っており、PT・委員会で検討し、関係者への要望に盛り込んでいきたいと考えている。
- ・10/20に関係者でシステムプラットフォーム移行についてのWeb会議を行う。
- ・ニュートン社の商品内容比較に関するeラーニング情報をアカデミーに活用できるか精査している。

〔地域別委員会別資料〕教育委員会報告シート（地域別委員会別資料P.25-26）

組織委員会

藤山委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・仲間づくり推進に関しては、香川・福岡・徳島が入会目標を達成した。さらに福岡では2店の上乘せができている状況と牽引いただき、感謝申し上げる。さらにあと1店で目標達成という代協も京都・奈良・和歌山・山口と続いている。
- ・代理店賠償の申込を締め切った。
10/5の集計にて、9,473件198,787千円と更新対象の9,538件に65件の未着を確認している。10/5時点正会員数11,002店、更改対象店数9,538店、加入者数9,473店（継続9,301店・新規172店）、継続率97.5%、加入率86.1%。（高額補償プラン18店）
更新に際しての課題は、締切の遵守である。9/2(金)を手続締切日としていたが、980件10.3%（締切時未更改980件/更改案内数9,538件）が未着であった。（前年の8.4% 819件より手続遅延が増えた。）
不備状況に関しては、昨年の2.09%（200件/9,605件）と比較して、今年は9/22時点1.96%（186/9,473件）と微減している。大半が損保トータルプランナー認定番号の不備・未記入であった。更新に当たり、募集帳票類を分かりやすく改定し続けたことで数年前の混乱状況は回避できているが、締切の遵守や損保トータルプランナー認定番号の周知は変わらず課題である。受講勧奨の候補先は数多く存在する。
- ・9/13に組織委員会を開催した。その後11ブロックでブロック組織委員会を開催したが、うち9ブロックの委員会にWeb参加した。熱量をもって情報をお伝えするために極力参加する方針である。東海ブロックの委員会で闊達な論議が行われていたことが印象的であった。その提言を活かし、全国の若手・女性の方を1名ずつ参加いただく形でWeb組織委員会を実施したいと考えている。
上信越と北陸でブロック組織委員会が開催できていない。原因・課題を確認し、今更聞きづらいということまで丁寧に確認し、楽しく解決につなげていきたい。
- ・11/11に次回組織委員会を開催する。来期の入会目標ガイドラインと下期のキャンペーン実施の是非について検討しているが、11月の組織委員会で審議の後、12月の理事会に上程したいと考えている。

〔地域別委員会別資料〕組織委員会報告シート（地域別委員会別 P.27-28）

〔追加資料〕2022 年度代理店賠償日本代協新プラン申込状況（追加資料 P.6）

CSR委員会

大城委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・防災減災の具体的な取り組みの検討・推進：全国会議において、マイタイムライン・ハザードマップ勉強会を行った。この横展開が始まっている。9/8 千葉、9/9 岡山、10/7 北陸ブロックで開催された。日程の許す限り、Web 参加して好事例の横展開を促進していきたい。
- ・継続活動に実施については、無保険車追放・地震保険普及について9月上旬にティッシュのパッケージを各代協に配送した。コロナウイルスの感染状況が減少傾向にあるため、感染対策を講じたうえで街頭配布を実施する代協も出てきている。
サイバーセキュリティに関するセミナー開催が6代協であるが、継続的にかつ定期的で開催することが重要であるため、委員会として企画開催の勧奨を行うこととする。
- ・ぼうさい探検隊の進捗状況は、10/11 現在 195 件（去年は 140 件）の応募、マップは 82 件（去年は 50 件）の提出であり、提出ベースで 11 代協が三冠王の目標を突破している。残る 1 か月（11/4 締切）、マップ提出のフォローを推進する。
（10/11 時点の応募ベースで目標に不足している代協は、岐阜・福井・滋賀・徳島・香川・愛媛・高知・宮崎という状況。タブレット利用の際は早めの予約入れがポイントとなる。）
和歌山の西川さんの好取組紹介：タブレットでマップ作成した際にそのマップを額縁に入れてお渡ししているとのことで早速横展開した。
なお、ぼうさい探検隊マップコンクールには年度ごと締切期限等が設定されているが、通年の取組としていくことも重要で検討していきたい。

〔地域別委員会別資料〕CSR 委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.29）

広報委員会

大和委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・日本代協ならびに損害保険トータルプランナーのブランド向上に向けた PR 企画：
2022 年度企画については 3 本の動画が完成した。3 つのシチュエーション別で各動画 1 分 30 秒ほどで損保トータルプランナーが説明を行うもので、今までになくストレートで分かりやすく伝わる動画をつくることができたと自負している。（体験者が語るトータルプランナー、FP 認定者が語るトータルプランナー、主婦が語るトータルプランナーというシチュエーション）
2023 年 1 月から公開する予定で、現在、広告につけるマネープラスによる記事執筆を行い、SNS や Web サイトに載せる広告のターゲット等について協議する。
- ・みなさまの保険情報の利用拡大に向けた情報提供と具体的推進：
申込みに際して、金額がいくらになるかなどがわかりづらいという声に対応すべく、PT リーダーである由良副委員長が「みなさまの保険情報」料金計算シートをエクセルで設計した。紙媒体の購入部数・PDF 版の申込の有無・三つ折りの有無などを入力すると料金が提示されるシートで活用していきたい。日本代協ホームページに登載していく予定である。お客さまへの情報提供、接点強化の支援としたい。

- ・全国一斉 Zoom ミーティングを 8 月に開催した。グループディスカッションが好評であったため、年 2 回開催を企画し、交流の場を増やすこととした。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.30）

2. 前回理事会（2022.9.8 開催）以降の主な業務報告

（1）仲間づくり推進 9 月末状況

【主な内容】

- ・入会 136 店・退会 233 店（うち合併等 170 店）で小計 97 店（前年度は入会 126 店、退会 300 店（内合併等 77.3%の 232 店）で小計 174 店）合計 10,997 店。22 代協が連クォーター稼働の最初のラップを刻んだ。
- ・代申社別では、TN 28 店、MS 26 店、SJ 25 店、AD 12 店、日新 5 店、楽天 2 店、大同 1 店の減少に対して、共栄、chubb + 1 店と増店した。

〔資料 報 1.〕仲間づくり推進 9 月末（代協別・代申社別）（追加資料 P.4-5）

（2）代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」更新状況

【主な内容】

- ・2022 年度の日本代協新プランの更新状況は、藤山組織委員長の報告の通りである。藤山組織委員長の報告のほかに以下の状況が報告された。

〔資料 報 2.〕2022 年度代理店賠償「日本代協新プラン」更新状況（追加資料 P.6）

（3）損害保険大学課程

【主な内容】

損害保険トータルプランナー認定状況等

・ 8 月末時点	損害保険トータルプランナー	19,171 名（+ 120 名）
	認定有効者数	16,047 名（+ 86 名）
	代理店検索機能登録	4,491 店（+ 21 店）
	損害保険プランナー	73,204 名（+ 1 名）
	有効認定者数	33,373 名（+ 21 名）
	ゴールドカード保有者	7,972 名（+ 55 名）

・ 2022 年 9 月末代申社別 TP 有効認定者数

損保ジャパン 4,562 名、三井住友 3,577 名、東京海上 3,405 名、あいおい 2,400 名
A I G 969 名、日新火災 647 名、共栄火災 319 名、大同火災 123 名、chubb 43 名、
楽天損保 28 名、セコム損保 14 名、ニューインディア 11 名、明治安田損保 8 名

〔資料 報 3.〕損保大学課程各コースの認定状況等（P.1-3）

コンサルティングコース受講勸奨

- ・受講申込受付期間：2022 年 12 月 1 日（木）～2023 年 2 月 10 日（金）
- ・紙媒体の募集ツールに関しては、校了済で 10 月 20 日（木）に各地に到着するよう準備に入っている。受講勸奨をお願いする。
- ・教育プログラムの管理システムも設置から 10 年経過し、セキュリティ強化の観点からバー

ジョンアップまたはAWS化が必要となってきた。また収納代行社の事業承継があり、移行先社の仕組みでの動作検証が必要な状況となっている。動作検証にも高額な費用が必要であり、改めて教育制度を統一化してよかったと痛感している。

〔資料 報4.〕コンサルティングコース募集要項_ちらし_ (日本代協ホームページ新着情報に掲載)
日本代協ホームページ最新情報 9/30 <https://onl.bz/3Rx89M5>

(4) 日本代協アカデミー登録状況等

【主な内容】

- ・更新対象者の支払期限を9月30日(金)に設定し、更新手続きを進めていたが、利用会員への到着がさらに遅れる状況となってしまったため、支払期限を10月31日(月)に改めた。9/30入金完了状況は更新案内880会員発送のうち、687代理店(78.07%)が入金済である。システム改定の検討に伴い、日本代協アカデミー年度を従来の10月開始から4月開始とずらすため、本10月の更新は半期の利用料で請求を行っている。
- ・10月中旬に新しい学習コンテンツとして「公的保険シリーズ」を配信する。金融庁のポータルサイト情報の伝道師を数多く育成することに焦点を当てる。10月1日にはコンプライアンス講座とシリーズで提供しているブレインマークス講座を登載済である。

〔資料 報5.〕日本代協アカデミー更新用ちらし_新規ちらし(P.14-17)

(5) 大学講座講師プレゼンテーションスキルアップ研修

【主な内容】

- ・10/31(月)10時30分~17時(日本代協会議室 Zoomハイブリッド形式)にて開催する。該当ブロックから10名の受講申込があり、HRA角田講師をお招きし、開催する。

(参考)2022年度後期連続講座実施予定

琉球大学 11/15・12/20、九州大学 12/21、東北大学 1/10、名古屋大学 12/23

〔資料 報6.〕「大学講座」講師候補者選定のお願いならびに「講師プレゼンテーションスキルアップ研修(Webハイブリッド)」開催のご案内(P.18-19)

(6) 日本代協コンベンション対応

【主な内容】

- ・式典来賓の白川損保協会長、金融庁監督局の三浦保険課長はホテル会場にリアル出席いただく。(変更点)
- ・開始時刻は13時30分で、式典会場は過去に利用していた広さ(パレロワイヤルA・B)から倍の広さ(パレロワイヤルA・B・C・D)となる。
- ・式典における役員の座席は、会員懇談会の時はステージ両側にお座りいただくが、それ以外の時は、ステージに向かう指定座席のお座りいただく。
- ・分科会対応では、ホテルじゅらくの会議室がなくなったため、新会場であるソラシティを利用する。その他の3会場は損保会館会議室である。

(タイムスケジュール・役割分担等)

- ・理事の皆さまには11/18(金)11時30分から詳細説明実施。正副会長はウェルカムライン整列し、終了後はフェアウェルライン整列する。(正副会長は必須とし、他の理事は地区ご

との写真撮影等がある場合はそちらを優先いただいで構わない。)

- ・鈴木馨祐政連顧問は 14 時 30 分～16 時の会員懇談会の時間帯に到着され、ご挨拶いただく。
- ・分科会担当は、栗山ゼミ = 横山副会長、古田土(こだと)ゼミ = 小俣副会長、中崎ゼミ = 中島副会長、永井ゼミ = 山中副会長。アイコンクス社が全ゼミを収録し、オンデマンド配信に備える。
- ・11/19 各講師は、損保協会の講師控室集合、ソラシティ会議室利用ゼミの講師は直接ソラシティ集合とする。各講師の担当副会長は、各ゼミ終了後に講師ご慰労会の会場に講師を案内する。

〔資料 報 7.〕第 11 回コンベンション(日本代協役員用マニュアル)(席上配付)
代協会員懇談会(2022)質問事項一覧(席上配付)

(7) 2023 年度事業計画に関するご提言依頼提出状況

【主な内容】

- ・11 月 11 日(金)を提出期限として通知しているが、現在のところ、提出はない。新規の提言だけでなく、やめる事業等についてもご提言いただきたい。

(8) 代理店経営サポートデスク相談状況

【主な内容】

- ・今年度の経営相談内容の分類では、代理店経営全般 11 件、その他*9 件、代理店労務管理 6 件、BCP/事業継続力強化 2 件、代理店合併・事業承継 2 件、体制整備・FD 宣言・KPI が 0 件となっている。
- ・その他*では公的保険、白ナンバーアルコールチェック、AI-Contact、HP 改修、サイバー対策等多岐に渡る相談が寄せられた。
- ・企業経営者に寄り添い、悩みの解決を支援するために、2 つの共済制度(小規模企業共済・経営セーフティ共済)の概要を知り、経営者の退職金準備や事業継続の資金手当てのための情報提供の幅を広げることも重要である。小規模企業共済・経営セーフティ共済の基礎ガイドを作成した。11 月 1 日開示予定。

〔資料 報 8.〕2022 経営相談分類整理・相談明細(P.20-21)
ふうたのワンポイントレッスン(P.22-23)
業界関連情報 55(追加資料 P.21-23)

(9) 第 11 回国際保険流通会議 東京 概要(主催:JC 保険部会、後援:日本代協)

【主な内容】

- ・11 月 19 日(土)13 時～17 時 30 分
会場:東京 港区立産業振興センターホール(東京都港区芝 5-36-4 札ノ辻スクエア)
ハイブリッド・ウェビナー(会場参加 50 名、総数で 200 名)で開催、参加者は国内外で保険流通に関わる方および大学生。
(コーディネーターは倉橋 JC 保険部会長、パネラーとして日本代協 小田島会長、松本理事が参加する。コンベンション分科会会場から駆け付ける。)

〔資料 報 9.〕第 11 回国際保険流通会議(P.24-26)

(10) 第 8 回損害鑑定フォーラム(主催:日本損害鑑定協会、後援:日本代協)

【主な内容】

- ・11 月 5 日(土)9 時 30 分～16 時 WEB 配信、テーマ「Prepare for Crisis」

「今、押さえるべき損害鑑定トレンド」

(専門家の意見や市場動向、価格調査なども交え、昨今の物価変動等の実情を深く理解するべくディスカッションする)

「首都直下型地震 X - Day」

(事態発生時にどう行動すべきか、何を準備すべきかなど、業界の取り組むべき姿についてディスカッションする)

フォーラム参加申込 損害鑑定協会 HP <https://www.laaj.or.jp/> より申込する。

参加費用@1,000 円 招待コード : 8kafo22 (半角) 要入力。(不適切な業者等の視聴を排除する観点から、招待コードの入力の要請が届いている。)

[資料 番外 .] 第 8 回損害鑑定フォーラム (追加資料 P.7)

3 . その他

(1) 業界最新情報

・事務局より、以下の報告があった。

・金融庁保険課に「代協活動の現状と課題」の説明に伺い、40 分面談いただいた。

9/30 午後、2022 年保険モニタリングレポートが金融庁ホームページに公表された。6 月に日経新聞に掲載された監督パッケージという形ではなく、各ページに要素をちりばめたレポートという形となったが、この内容にも触れながら、日本代協の取組みについて説明させていただいた。

公的保険の情報提供に関して、日本代協アカデミーのコンテンツに取り上げていることなどには特に当局の関心が高かった。

レポートでは、本文は 64 ページ中、55 ページに損害保険代理店との円滑な連携について記載されており、4 月に実施した当会との意見交換会についても触れられている。

以下、抜粋

(4) 損害保険代理店との円滑な連携

これまで、一部の代理店において、損害保険会社が代理店の統廃合を強引に進めている、或いは、代理店手数料ポイント制度の導入により、零細な代理店の手数料が減少している、といった指摘もある。

こうした課題は、損害保険会社と代理店との委託契約に定められた民間の契約に基づくものであり、そのあり方については当事者間でよく話し合い解決すべき事項であるが、金融庁としても、損害保険会社に対して、一方的な対応とならないよう、代理店の意見をしっかりと聴取する等、丁寧な対応に努めるよう促しており、損害保険会社においても、ここ数年、代理店側の主張に配慮し、様々な対応を行っている。

しかしながら、一部の代理店からは懸念の声が継続的に挙がっていることを受け、金融庁では、2022 年 4 月に日本損害保険代理業協会及び傘下の都道府県代理業協会との意見交換会を行った。各都道府県代理業協会からは、損害保険会社の取組みや協力への感謝の声があった一方、制度や報酬体系の見直しへの丁寧な対応を求める意見が引き続き聞かれた。

このような声を踏まえ、金融庁では、2022 年 6 月に、損害保険協会との意見交換会の場において、引き続き、代理店と損害保険会社の対話をフォローしていく旨を伝えるとともに損

害保険会社に対して、課題解決に向けた自主的な取組みを求めた。

2022 事務年度の方針も以下に抜粋。

損保代理店の業務品質管理について、代理店の規模特性を踏まえつつも「高度化を図るよう」という文言が追加された。(昨年度のレポートにはなかった表現)

以下の施策を通じて、各財務局との連携を一層強化しつつ、顧客本位の業務運営の更なる推進に向けて、より効果的・効率的な保険会社における代理店管理態勢の向上を促していく。

(1) 保険代理店ヒアリング

公的保険制度を踏まえた保険募集等の行政課題に関して、引き続き、各財務局と連携して代理店ヒアリングを実施し、実態把握を進めていく。

(2) 生命保険会社による代理店管理の高度化の促進

各生命保険会社・代理店において、生命保険協会の業務品質評価基準等を活用するなど、代理店の業務品質向上に資する取組みが浸透するよう促していく。

(3) 損害保険代理店との円滑な連携

昨事務年度の対話等で認識された課題に対する各損害保険会社の取組状況について、引き続きフォローアップを行うとともに、顧客本位の業務運営を更に推進する観点から、財務局と緊密に連携して、損害保険会社と代理店の双方との対話を実施し、両者の円滑な連携を促していく。その際、代理店の業務品質管理についても、代理店の規模特性を踏まえつつ高度化を図るよう、両者に促していく。

- ・ 損保協会長ステートメントにおいても、気候変動・事前災害のパートならびにエマージングリスクに関する取組み(サイバーリスク等)に関するパート、募集品質向上に関する取組みのパートで日本代協との連携について言及いただいた。
- ・ サイバーリスクの情宣や対策に意欲的の取り組んでいる大分の会員 RIMIX(株)の今徳 良さんの取材収録が出来上がっている。日本代協アカデミーの情報提供コンテンツ「GOGO 探検隊」で間もなく開示するが、日本代協ホームページの日本代協アカデミーのバナー内にスピンオフ版の動画を情宣用に登載するので、仲間の意識・行動改革を確認していただきたい。

[資料 報 10.] 1.2022 年保険モニタリングレポート概要(追加資料 P.8-20)

<https://www.fsa.go.jp/news/r4/hoken/20220930/20220930.html>

2. 保険会社向けの総合的な監督指針の一部改正(案)パブコメ(P.27-30)

3.0916 保毎記事_2022 事務年度行政方針(P.31)

4. 損保協会長ステートメント 0915(P.32-36)

5.0916 保毎記事_損保協会大知専務理事インタビュー(P.37)

(2) その他

- ・ その他の最新情報について説明があった。

[資料 報 11.] 1.業界関連情報 54(P.38-40)55(追加資料 P.21-23)

[資料 報 11.] 2.0912 新日本記事_大阪代協代賠セミナー(P.41)

[資料 報 11.] 3.0919 新日本記事_大阪代協 Live ステーション(P.42)

[資料 報 11.] 4.JCM8 月実績等(P.43-44)

〔監事講評〕

白石監事から以下の通り監事講評があった。

- ・審議事項はなく、報告事項だけであったが、適正に運営され、各理事から熱意のある多くの報告事項について討議がなされ、自分の体も熱くなっている。
何点かコメント申し上げる。
- ・各代協のブロックセミナーが一部リアル開催されたことや公開講座として防災セミナーに関しては、一般の方の参加が多かったということもあり、全体的に開催が盛り上がったことは大変喜ばしいことである。
- ・重要な取組事項である「仲間づくり推進」について、正会員の過去6か月の入退会状況は、入会136店・退会233店(うち合併等170店)で小計97店(前年度は小計174店)という報告を確認したが、前年のマイナス幅を圧縮することはできているものの、依然として入会者よりも退会者が多いというトレンドは残念ながら変わっていないようだ。可能であれば、退会者が減らない現状について、退会の理由やその背景を総合的に分析されることを検討されてはどうかと考えている。新規加入勧奨が最優先であるが、一方でなぜ退会するのか、メリットを感じていないのかを明確に把握して対応策を実行していくことも必要だと考える。それによって、代協に加入することの意義や価値が一層高まり、より魅力的な組織に変容していければよいと考える。
- ・損保大学課程の件では、お客さまによりよいコンサルティングを実施することを目的に、コンサルティングコースの受講者勧奨を行うこととしているが、募集人資格の最高峰である損害保険トータルプランナーの認定者数を増やすということは業界にとって意義深いことだと考えている。今日は意見したPR企画の動画もとてもシンプルで分かりやすくできているので代協としては受講推進を強化することで認定者数を増加させ、お客さまを満足させる付加価値の高いサービスを提供できる保険のプロを数多く育成・輩出していくことが必要不可欠であり、それが業界の明るい未来と健全な発展につながるのではないかと思料する。

以上

< 諸会議開催予定 >

2022年10月～2023年3月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2022年度	10月14日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	11月18日(金)	13:30～20:00	第11回日本代協コンベンション(式典リアル開催)	グランドニッコー東京 台場
	11月19日(土)	10:00～12:00	第11回日本代協コンベンション分科会(リアル開催)	損保会館、近隣施設
	11月19日(土)	13:40～16:50	第11回国際保険流通会議in東京	東京
	12月2日(金)	午後	損保TP認定式(WEB開催)	WEB開催予定
	12月8日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第6回理事会 テーマ:通常議題	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	12月9日(金)	13:00～17:00 17:00～18:00	第3回会長懇談会(WEB会議:Zoom開催) 特別セミナー	日本代協会議室
	2月10日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00 18:00～	財務委員会 第7回理事会 テーマ:臨時総会議案、通常議題 損保協会役員との夕食懇談会(損保協会主催)	日本代協会議室 会場未定
	3月9日(木)	10:30～12:00 13:00～16:30	正副会長打合せ 第8回理事会	日本代協 会議室
	3月10日(金)	10:00～12:00 13:00～18:00 18:10～19:30	臨時総会 政連通常代議員会・全国会長懇談会 同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	損保会館 2F(大会議室) " 会場 未定

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、15時00分閉会した。

なお、WEB会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席会長（代表理事）及び出席監事がこれに記名押印する。

2022年10月14日

議長 会長 小田島綾子 印

議事録署名人 監事 白石雅一 印

議事録署名人 監事 津田文雄 印